

第47回衆議院議員総選挙結果

12月14日（日）に第47回衆議院議員総選挙が執行されました。
占冠村での投票結果をお知らせします。

占冠村投票率

72.10%（前回71.49%）



投票所別投票率

投 票 区	当日有権者数（人）	投票者数（人）	棄権者（人）	投票率（％）	前回投票率（％）
第1投票区（中央）	569	456	113	80.14	78.98
第2投票区（占冠）	110	86	24	78.18	83.19
第3投票区（双珠別）	48	37	11	77.08	77.36
第4投票区（トマム）	261	137	124	52.49	49.60
在 外	5	0	5	0.00	0.00
合 計 （投票区合計＋在外）	993	716	277	72.10	71.49

比例代表党派別得票結果

政党名	村得票数	道内得票数
幸福実現党	1	12,267
日本共産党	53	302,251
自由民主党	167	744,748
公明党	75	307,534
社会民主党	160	53,604
民主党	162	688,922
維新の党	45	247,342
次世代の党	5	38,342
支持政党なし	21	104,854

小選挙区得票結果

候補者名	所属	村得票数	道内得票数
ささき 隆博	民主党	393	104,595
おぎう 和敏	日本共産党	47	24,656
今津 ひろし	自由民主党	251	101,748

【野生動物対策の状況について】

村内の野生動物に関する情報をお知らせいたします。

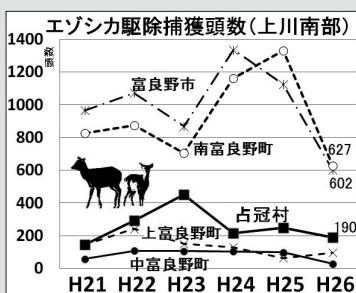


エゾシカ

雪が積もり、シカたちにとっても厳しい季節となりました。村内のシカの中には、夏と冬とで住みかを変えるものがいて、皆さんが身近に見かけるシカも、秋のシカとは違うかも知れません。

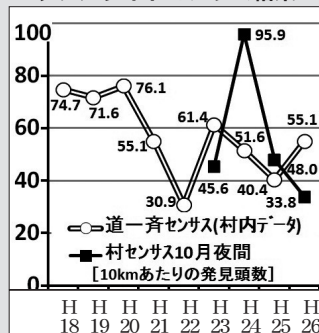
上川総合振興局のまとめによると、占冠村を含む北海道西部地域のエゾシカ生息数は、増加が止まったか、少し減り始めたと見積もられています。依然として捕獲努力が必要とされていますが、近隣市町村では、富良野市や南富良野町のように、今年の捕獲数が大きく減ったところがあります。（図1）生息数の減少だけでなく、捕獲を続けた結果、残ったシカが捕れづらくなった影響と思われます。

占冠村の生息数は不明ながら、センサス調査の結果からは、大きな減少はないと推察されます。（図2）。村では猟区制度も活用して組織的な捕獲に取り組み、捕獲効率の向上に努めていきます。



(図1)

エゾシカライトセンサス結果



(図2)

■お問い合わせ

林業振興室 地域おこし協力隊

電話 56-2174



ヒグマ

今年度の捕獲数は9頭でした。例年と比べても出没情報の多い年でしたが、事故等なく経過した模様です。



アライグマ

積雪期は、木のうろや納屋などで過ごしていると思われます。お見かけになりましたらご一報下さい。

◆占冠村猟区について◆

12月10日現在まで、事故、違反等の発生はありません。ここひと月の経過は以下の通りです。

11月5日～13日 住民懇談会における状況報告

11月15日～20日 西興部猟区狩猟ガイド研修

11月23日、24日 第1回入猟（2名×2日）

東京のハンターが入猟し、雄1頭を捕獲（写真）。



12月15日に1名の入猟が予定されています。

猟区へのハンターの立ち入り（通過）は違反ではありませんが、村の承認しない捕獲行為（銃を構えることを含む）は取り締まり対象です。村では休日を中心にパトロールを行い、ハンターに対して注意喚起し、捕獲の適正化に努めています。

なお、許可を得た狩猟者、駆除従事者は車両にその旨の表示があり、証明書を携行しています。

今後とも、ご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。

「国有林と村が連携したエゾシカ対策」 国の発表会で、賞を受賞



審査の結果、森林保全部門の「日本林政ジャーナリストの会会長賞」を受賞しました。

この発表は、昨年1月に札幌市で開催された「平成25年度北の国・森林づくり技術交流発表会」の最優秀賞受賞者として出席し、国有林野の多い村でのエゾシカ対策として、森林管理署と村が連携し安全で効率的な体制づくりに取り組んできたことや今後の展望について報告しました。

12月3日に、林野庁本庁（東京）で開催された「平成26年度国有林事業業務研究発表会」において、上川南部森林管理署占冠森林事務所の妻藤史森林官と占冠村役場林業振興室の浦田剛協力隊員の2名が参加し、「目指すべきエゾシカ対策への取り組む地域に根差した体制づくり」と題して発表しました。